

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	松本 亜香里	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

保育に関連する諸問題や課題について、各自が研究したいと思うテーマに沿って文献検索等で情報収集を行い、研究成果をまとめる。フィールドワークでは、専門演習Ⅰでの成果をふまえた保育教材の意義を保育現場での実践をとおして確認し、指導法を考える。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業内容に応じて、事前学習をふまえてディスカッションやグループワークを取り入れる。また、ゼミ内で各々の研究内容に関連した文献を輪読したり、フィールドワークの内容や省察を発表したりして、研究内容をまとめる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション 夏休みの活動報告と後期の研究計画調整	オリエンテーション（授業説明、注意事項）。各自の夏休み中の研究活動をゼミで共有し、後期の研究計画を調整する。	<input type="checkbox"/>
第2回	研究テーマと計画の発表	各自の研究テーマに沿った研究計画の発表を行い、それぞれに関しゼミ生同士の意見交流を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	テーマに関連する資料収集（書籍・論文）とまとめ	収集した資料から得た情報をまとめる。	<input type="checkbox"/>
第4回	テーマに関連する資料収集（新聞・インターネット）とまとめ	収集した資料から得た情報をまとめる。	<input type="checkbox"/>
第5回	収集した情報の整理と分析	収集した情報をカテゴリー化し、分析を行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	研究成果物作成	研究するきっかけから研究方法、収集した情報の集約、分析の成果をまとめる	<input type="checkbox"/>
第7回	研究成果報告会	各自のテーマに沿った研究成果発表を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	フィールドワーク 企画検討会	保育現場でのフィールドワークの企画を検討する。	<input type="checkbox"/>
第9回	フィールドワーク 企画内容の細分化	企画検討会で決まった企画内容の細分化を行い、今後のフィールドワークの計画を立てる。	<input type="checkbox"/>
第10回	フィールドワーク 実践①	各自企画した内容の実践を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	フィールドワーク 振り返り①	各自実践の振り返りを行い、ゼミ内で振り返りを共有する。	<input type="checkbox"/>
第12回	フィールドワーク 実践②	1回目の振り返りを踏まえて2回目の実践を行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	フィールドワーク 振り返り②	各自2回目の実践の振り返りを行い、ゼミ内で振り返りを共有する。	<input type="checkbox"/>
第14回	研究と実践のまとめ	これまでの研究状況と実践の内容をまとめる。	<input type="checkbox"/>
第15回	研究報告会	まとめた研究の成果を発表し、質疑応答を行う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として、テーマに沿って情報を収集し、他者に説明できるようにしておく（2時間程度）。事後学習として、授業の中で取り扱った内容やフィールドワークでの実践について課題用紙にまとめておく（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された課題にはコメントを書き入れ、次の授業でフィードバックをする。また、全体に対して課題内容を紹介する形でフィードバックを行うこともある。

■授業の到達目標と評価基準 (Course goals)		
区分 (Division)	DP区分 (DP division)	内容 (DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	現代の保育ならびに教育の現場における諸課題に対し、興味関心をもって自らの研究課題を立てることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代の保育ならびに教育の現場における諸課題に対し、根拠となる資料やデータを集めるとともに自らの考えをまとめ、他者に説明することができる。
主体性	◆ 2019子ども発達DP3	調査、実践研究をととして他者と協働する中で、多様な考えに触れ、違いを理解することができる。

■成績評価 (Evaluation method)				
筆記試験 (Written exam)	実技試験 (Practical exam)	レポート試験 (Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他 (Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容) (Specific contents) 課題をととして、授業の中で扱った内容をまとめる (70%)。				

■テキスト (Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、必要時応じて紹介する	
2		
3		
4		
5		

■参考図書 (references books)		
No. (No.)	テキスト名など (Text name)	ISBN (ISBN)
1	授業の中で、必要時応じて紹介する	
2		
3		
4		
5		